

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成 25 年度～平成 29 年度（5 年間）								
事業実施地区名 （都道府県名）	（あがつま） 吾妻森林計画区 （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 吾妻森林管理署								
完了後経過年数	4 年	管 理 主 体	吾妻森林管理署								
事業の概要・目的	<p>本事業は、群馬県の北西部に位置する、中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町の 4 町 2 村に所在する、約 58 千 ha の国有林野を対象としている。</p> <p>その大部分が吾妻川、四万川、白砂川、万座川等の源流部にあって、下流域の生活用水や農業用水などの水がめとして重要な役割を果たしており、本計画区内の国有林の 65% が水源涵養又は土砂流出防備等の保安林に指定されている。</p> <p>本計画区の国有林野の 53% が上信越高原国立公園に指定されているほか、国指定の史跡名勝天然記念物に吾妻峡や草津白根のアズマシャクナゲ及びハクサンシャクナゲ群落が指定されているなど、良好な自然環境を有している。また、本計画区は首都圏から比較的近く、温泉、湖沼、山岳等の豊かな観光資源に恵まれており、スキー、登山などの森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、気象、地況、土壌等の自然に恵まれた地域を中心にスギ、カラマツを主とした人工林が分布しており、管内の人工林率は 39% で、そのうち 9 齢級以上の森林が 6 割を占め、契約満了を迎え主伐される分収林とあわせ、県内外の大型製材工場やバイオマス発電施設等への木材の安定供給が期待されている。</p> <p>さらに近年は、地球温暖化に伴う異常気象の頻発等の状況変化もあり、地球温暖化防止等に対する国民の期待は高まっている。</p> <p>本事業においては、このような国民の期待の高まりに応え、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を確保していくため、人工林資源の循環利用に必要な植栽等の更新作業、保育・間伐等の保育作業を実施するとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網整備に取り組んだものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備 更新面積</td> <td>91ha</td> </tr> <tr> <td>保育面積</td> <td>3,062ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備 開設延長</td> <td>4.6km</td> </tr> <tr> <td>改良延長</td> <td>5.9km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 2,314,143 千円(税抜き 2,153,194 千円) (平成 24 年度の評価時点 1,584,028 千円(税抜き 1,508,598 千円))</p>			森林整備 更新面積	91ha	保育面積	3,062ha	路網整備 開設延長	4.6km	改良延長	5.9km
森林整備 更新面積	91ha										
保育面積	3,062ha										
路網整備 開設延長	4.6km										
改良延長	5.9km										

<p>① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>費用便益分析の算出方法は、平成 28 年度に大きな改正があり、過去の費用を現在価値に換算するに当たり、物価変動の影響を除いて算出することとなった。さらに、平成 30 年度には、費用から消費税を除いて算出する見直しも行った。また、台風や集中豪雨等の影響で広範囲での林道被害が発生したことにより、被害箇所の災害復旧工事を実施したため大幅な事業費の増となった。</p> <p>令和 4 年度における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>総便益(B) 14,543,304 千円(平成 24 年度の評価時点 9,648,138 千円※) 総費用(C) 4,421,284 千円(平成 24 年度の評価時点 1,980,898 千円※) 分析結果(B/C) 3.29 (平成 24 年度の評価時点 4.87)</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<p>本事業の実施により、森林が適正に整備され、水源涵養や国土保全等、森林の有する多面的機能の維持増進が図られた。</p> <p>また、本事業の実施を通じて生産された木材を活用し安定供給に努めたことにより、今期については素材生産量が前期(平成 20 年度～平成 24 年度)の約 44 千^mから約 102 千^mに増加(2.3 倍)し、地域林業の振興に貢献するとともに、農山村における雇用の場の提供、地域の社会経済の発展に貢献している。</p> <p>これは、これまで路網が未整備であったことから木材の搬出が困難であった森林において、効率的に路網整備を進めるため、簡易ではあるが丈夫な構造の林業専用道を新設又は改良したことに加え、高性能林業機械の利用と列状間伐による施業が定着し作業効率の向上が図られたことや、植栽本数や下刈り回数の見直しを行うなど、事業コストの縮減が図られたことも寄与している。</p>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>本事業により整備された路網は、職員による日常の巡視や点検及び台風等の通過後の臨時点検により、通行の支障の有無や危険箇所の発生の有無等の確認を行い、補修等を実施することにより良好に維持管理している。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、国土保全、木材等の林産物の安定供給、地球温暖化防止等、様々な多面的機能が発揮されている。</p> <p>また、本事業により整備された森林は、都市近郊における森林とのふれあいの場を提供しており、保健文化機能を充実させている。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>我が国の森林では、これまでの先人の努力等により、戦後造林された人工林を中心に蓄積量が増加しており、この豊富な森林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」という形で循環利用することを通じ、林業の成長産業化と森林の適切な管理を両立していくことが求められている。</p> <p>このため、施業の集約化、意欲と能力のある林業経営者の育成、木材の安定供給の確保等を進めていくことが必要となっており、生産性の向上や労働安全対策の強化に向け、スマート林業の推進等にも取り組む必要がある。</p>

<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、引き続き森林整備事業を実施する。</p> <p>事業の実施に当たっては、更なる作業効率の向上とコスト縮減を図る必要がある。主伐箇所については積極的にコンテナ苗を採用した一貫作業システムを一層推進することにより、引き続き低コスト化・省力化を図ってゆく必要がある。</p> <p>また、スギ植栽箇所については、全量花粉対策苗に移行することとしている。</p> <p>これらの取組については、国有林が先頭に立ち、民有林に波及させるため、現地検討会の開催などにより、素材生産の生産性向上や造林事業の低コスト化・省力化へ向けて、県・市町村とも連携して取り組んでいくことが重要である。</p> <p>地元の意見： (群馬県) 森林が適正に整備されたことにより、森林の有する多様な公益的機能の増進が図られていると認識している。</p> <p>引き続き計画的かつ適正な森林整備を推進していただくとともに、皆伐後の確実な再生林を図るため、一貫作業システム等を推進し、更なる作業効率の向上とコスト縮減を進めていただきたい。</p> <p>また、本県の木材の安定供給体制を確立するため、木材の計画的かつ安定的な供給をお願いする。</p> (中之条町) 本町からは森林環境保全整備事業に対して、特段の意見、要望等はない。 (長野原町) 本町からは森林環境保全整備事業に対して、特段の意見、要望等はない。 (嬬恋村) 計画どおり事業が実施され、効果が期待される。 (草津町) 本町からは森林環境保全整備事業に対して、特段の意見、要望等はない。 (高山村) 本村からは森林環境保全整備事業に対して、特段の意見、要望等はない。 (東吾妻町) 本町からは森林環境保全整備事業に対して、特段の意見、要望等はない。
<p>森林管理局事業評価技術検討会の意見</p>	<p>人工林資源の循環利用に必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業を実施するとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網整備に取り組んでおり、水源涵養や国土保全、木材等の林産物の安定供給、地球温暖化防止等、森林の有する様々な多面的機能が発揮されている。引き続きその効果が発現されると</p>

	見込まれることから、事業の有効性が認められる。
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資する事業であり、木材を安定供給、植栽、保育作業の実施により、地域の林業・木材産業の振興にも寄与しており、その必要性が認められる。 ・効率性： 森林整備については、列状間伐や高性能林業機械の利用、一貫作業システムの導入による作業効率の向上、事業コストの縮減を図ってきている。 また、路網整備では、木材の搬出が困難な箇所を優先することや、簡易ではあるが丈夫な構造の林業専用道を採用すること等によって、森林整備事業箇所へのアクセスの向上とコスト縮減が図られており、費用便益分析結果からも効率性が認められる。 ・有効性： 密度調整が必要な林分での間伐等の実施により森林の有する公益的機能が持続的に発揮されている。 また、整備した路網を活用した森林の循環利用が図られており、引き続きその効果が発現されると見込まれることから、事業の有効性が認められる。

※平成 24 年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

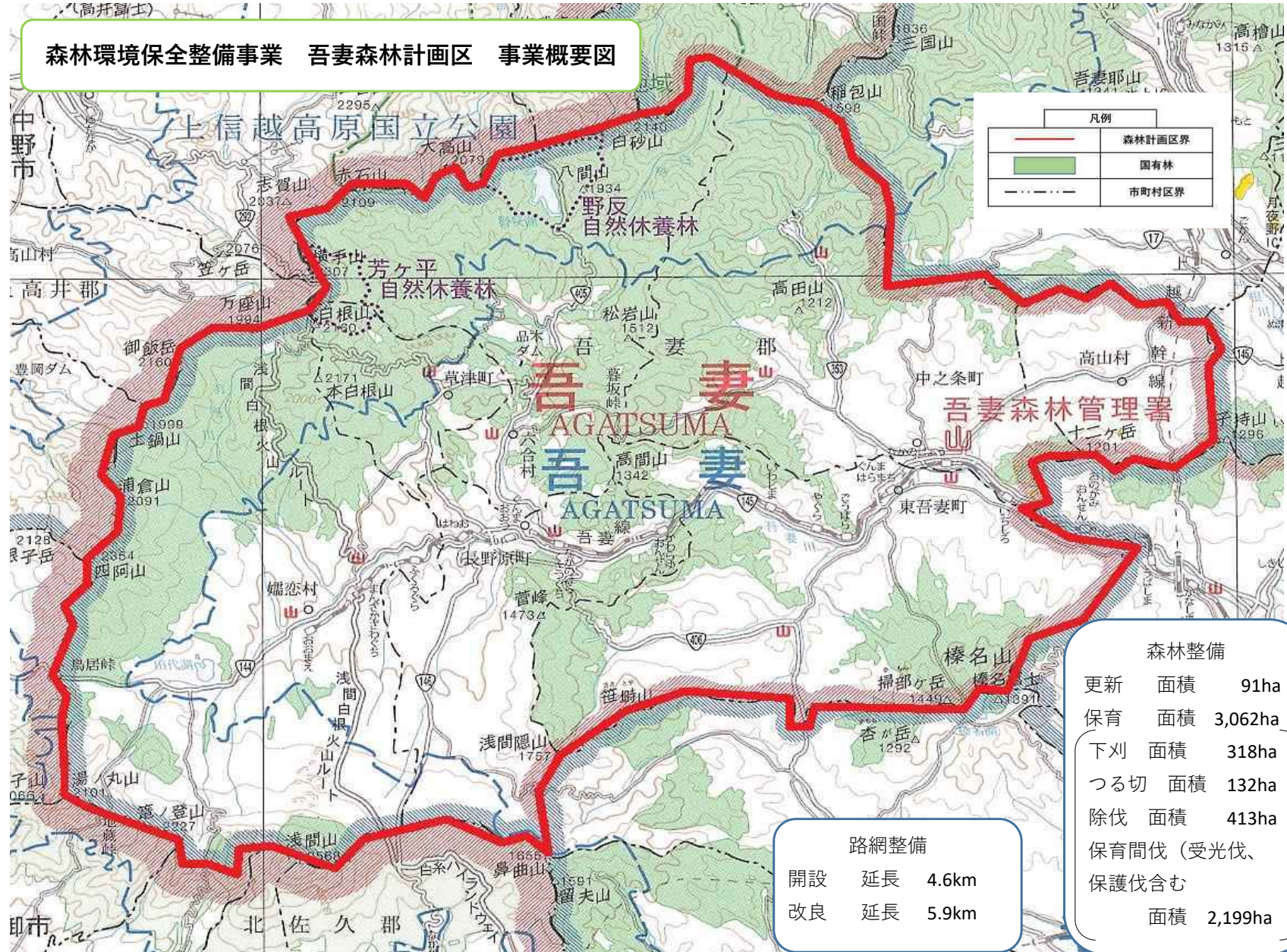
都道府県名：群馬県

施行箇所：吾妻森林計画区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,838,121	
	流域貯水便益	879,952	
	水質浄化便益	3,079,333	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,706,501	
環境保全便益	炭素固定便益	802,944	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	311,162	
	木材利用増進便益	41,502	
	木材生産確保・増進便益	1,231,795	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	651,994	
総 便 益 (B)		14,543,304	
総 費 用 (C)		4,421,284	
費用便益比	$B \div C = \frac{14,543,304}{4,421,284} = 3.29$		

森林環境保全整備事業 吾妻森林計画区 事業概要図



凡例	
	森林計画区界
	国有林
	市町村区界

路網整備		
開設	延長	4.6km
改良	延長	5.9km

森林整備		
更新	面積	91ha
保育	面積	3,062ha
下刈	面積	318ha
つる切	面積	132ha
除伐	面積	413ha
保育間伐（受光伐、保護伐含む）	面積	2,199ha